

平成24年度
第2回がんピアサロン
実施報告書

主催：沖縄県地域統括相談支援センター

平成25年2月27日(水)実施

実施概要	1
告知ツール チラシ.....	2
事前告知	3
当日スケジュール	4
会場レイアウト	5
会場風景	6
アンケート概要	7
アンケート集計結果.....	8 - 11
就労についての声(参加者から).....	12
ピアサポーター振り返りシート集計結果.....	13 - 14
まとめ.....	15

1. 目的:がんについての悩みや不安を語り合い、気持ちを共有し情報交換することで気持ちが楽になれる分かち合いの場として開催
2. 日時 : 平成25年2月27日(水)
午後1:00～午後4:00
3. 場所 : 沖縄県庁 1階 県民ホール
4. 参加費 : 無料
5. 対象 : がん患者、家族・遺族、または医療関係者など関心のある方
6. 主催 : 沖縄県地域統括相談支援センター
7. 後援 : 琉球大学医学部附属病院がんセンター

■チラシ（A4片面フルカラー）
 ※修了者・県内患者会や医療機関に配布

沖縄県地域統括相談支援センター主催
 後援：琉球大学医学部附属病院がんセンター

がんと共に生きる患者さんたちが
 語り合う場所

第2回
 「がんピアサロン」
 を開催します。

がんに苦しみ、不安を感じて生活される方やそのご家族が集う場として「がんピアサロン」を開催します。
 同じような立場の人による支援は気持ちの共有や現実的なアドバイスができるなど様々なプラスの面があります。
 「誰に相談していいかわからない」、「頭の中が真っ白・・・」、「家族ががんで、どう接したらいいかわからない」、「同じ病気の人と話がしたい」そんな悩みを話し合う交流会です。

「がんピアサポーター基礎講座修了者」が対応します。この機会にどうぞお気軽にお越しください。

※診断や治療について判断するところではありません。

開催概要

- 開催日時 平成25年2月27日(水)13:00～16:00
- 場所 沖縄県庁 1階 県民ホール
- 対象 関心のある方ならどなたでもご参加いただけます。
 がん患者さんやその家族・遺族、または関係者、医療関係者など、特に限定はしていませんのでご自由にご参加下さい。
 ※途中からの参加・退席は自由です。お気軽にお立ち寄りください。
- 参加費 無料・申込不要
- 参加に際しての留意事項
 - サロンの中での話は他では話さない
 - 宗教や政治活動は行わない
 - 特定の治療やサプリメントなどをすすめない

お問合せ先： 沖縄県地域統括相談支援センター
 琉球大学医学部附属病院内
 ☎：(直通) 098-942-3407 (代表) 098-895-3331 (内線4358/4359)
 fax：098-942-3408 e-mail：to-katsu@jim.u-ryukyu.ac.jp
 URL：(がんセンター) <http://www.ryukyucc.jp> (沖縄県がん診療連携協議会) <http://www.okican.jp>

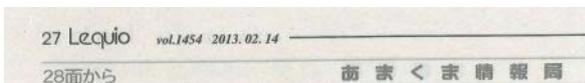
1. テレビ

(1)RBC 2013年2月18日(月) 夕方のニュースにて記者会見の様子が放映

2. 新聞・その他パブリシティ

(1)レキオ 2013年2月14日・21日(木) “あまくま情報局”掲載

(2)ほーむぷらざ 2013年2月14日・21日(木) イベント欄掲載



◇第2回がんピアサロン 27日(水)13時~16時 県庁1階県民ホール 無料 がんに関する悩み相談や情報交換のための交流サロン。対象：がん患者さん、ご家族・ご遺族・関心のある方。事前申込不要。▽がん体験者によるがん相談受付 平日(月)~(金)9時~16時 県地域統括相談支援センター(琉大病院3階フロアー) 無料 がん患者・ご家族・ご遺族を対象にがんについての不安や悩みをピアサポーター(がん体験者)がお伺いする。秘密厳守。 ☎098(942)3407 (同センター相談員上原)

(3)琉球新報 2013年2月26日(火)イベント欄掲載



あす、がんピアサロン
県庁1階県民ホール

県地域統括相談支援センターは27日午後1時から4時まで、「第2回がんピアサロン」を県庁1階の県民ホールで開催する。

がんに苦しみ、不安を感じて生活している人、その家族が集う場として開催する。「がんピアサポーター基礎講座修了者」が対応する。対象は、関心のある方ならだれでも参加できる。

参加は無料。申し込みは不要。問い合わせは県地域統括相談支援センター(琉球大学医学部付属病院内)☎098・895・3331(代表)

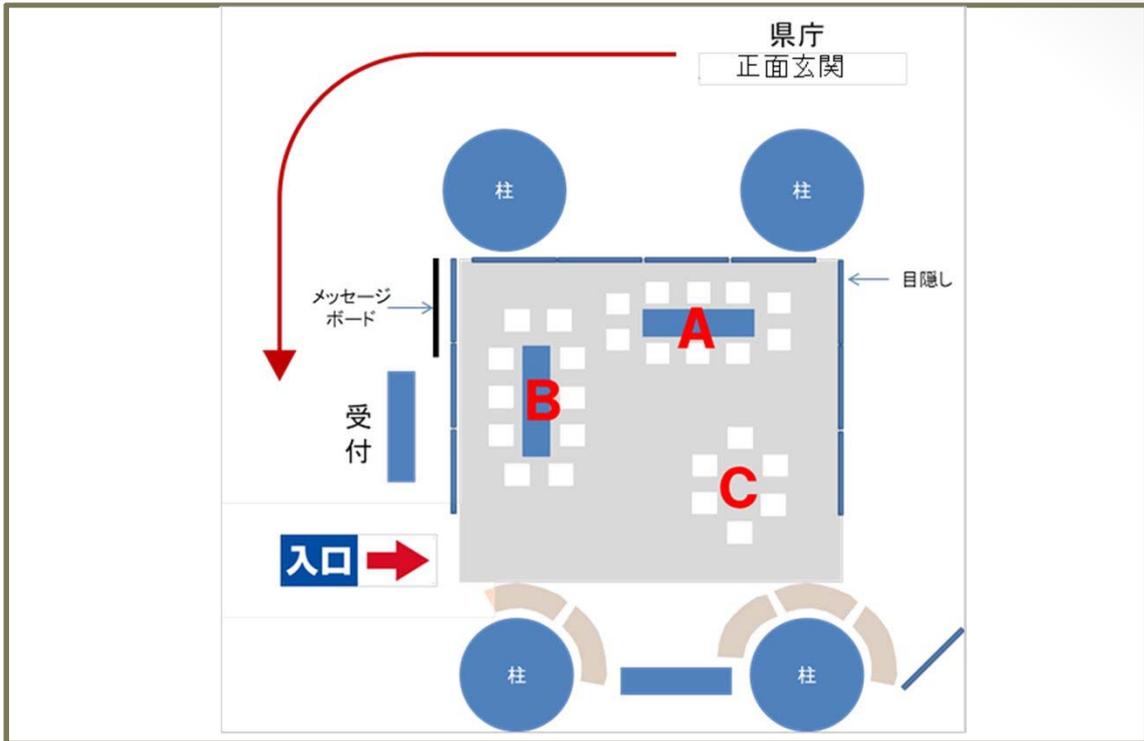
(23面)

(時系列順)

開始	終了	時間 (分)	内 容
10:00	12:00	120	スタッフ（上原・島袋・伊佐）会場入り 会場設営開始 ・ パーテーション、テーブル、椅子の配置他 ・ 情報コーナー（冊子の配置、パネル展示）
12:00	12:30	30	ピアサポーター・ピアサポーター（アドバイザー） 集合 事前打ち合わせ（ スタッフ紹介 ・ サロンの流れ ・ ピアサポート活動の注意点 ）
12:30	13:00	30	受付（島袋・伊佐） ①名前・住所記入・アンケート配布 ②県庁駐車場使用しているか確認 ③簡単な問診（立場・目的・グループまたは個別などの希望きく） ④グループに案内（不明な場合は上原まで）
13:00	13:05	5	・ がんピアサロン開始・サロンの説明 挨拶（司会上原）：サロンの目的・ルール説明、ピアサポーター、スタッフの紹介、アンケート協力お願い、就労に関する意見集約
13:05	14:30	85	第一部：フリートーク
14:30	14:40	10	アンケート記入時間及び休憩
14:40	15:55	75	第二部：テーマ「就労について」、その他 * テーマ別に席替え
15:55	16:00	5	閉会のあいさつ・アンケート記入
16:00	—		撤収・後片付け（島袋・伊佐）
16:00	16:40	40	反省会：その場で ピアサポーターへの「アンケート」、「振り返りシート」を基に振り返る
16:40			サロン終了

* サロン参加者12名：男性2名・女性10名
ピアサポーター9名：男性5名・女性4名

■会場レイアウト



■ピアサポーター配置表

	A	B	C
ピアサポーター	安里 稲屋 福田	比嘉 津波	大湾
ピアサポーター (アドバイザー)	吉田	大城松建	大城寿恵 田名

▼ 受付
地域統括相談支援センター・相談支援センターのポスター展示



▼ ピアサポーター事前打ち合わせ



▼ 資料コーナー



▼ 受付風景



▼ サロンの心得の説明



▼ サロン風景



▼ 第二部: 就労をテーマに展開



▼ メッセージボード



1. 目的

当センター主催におけるサロンの内容の質の向上及び改善等を推進するため、また、当センターの評価に必要な資料の収集のため、参加者を対象としたアンケートを行った。

2. 内容

(1) 参加者属性

年齢・性別・お住まい・お立場

(2) サロンの参加について

サロン認知経路・参加動機・情報交換したい内容

(3) 不安や悩みについて

不安や悩みの内容・誰に相談するか

(4) 患者本人の状況について

診断された部位・治療状況・診断後の経過年数

(5) 患者本人の就労状況について

仕事状況と変化、誰に相談したか、相談内容

(6) サロンの内容について

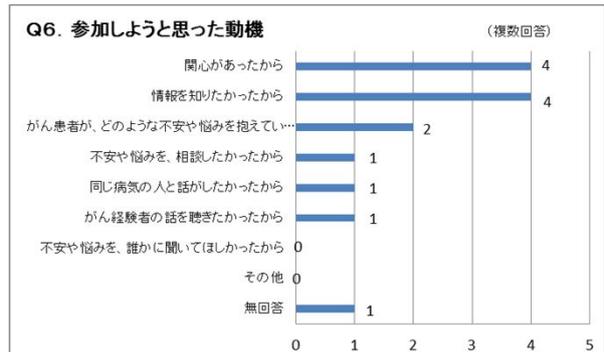
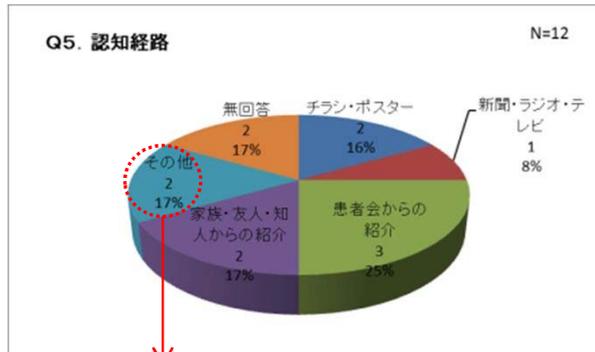
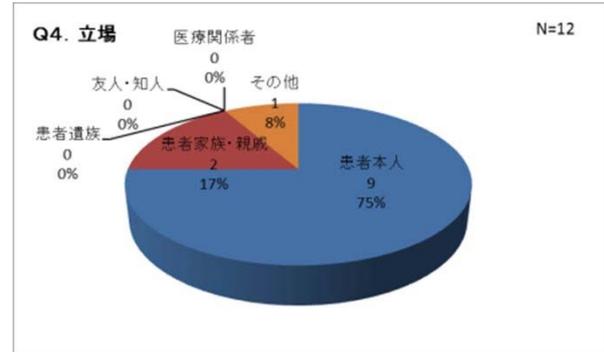
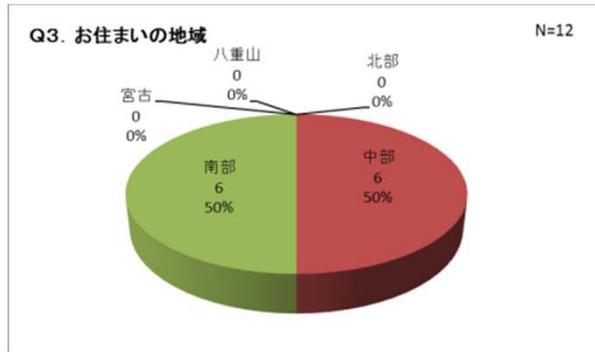
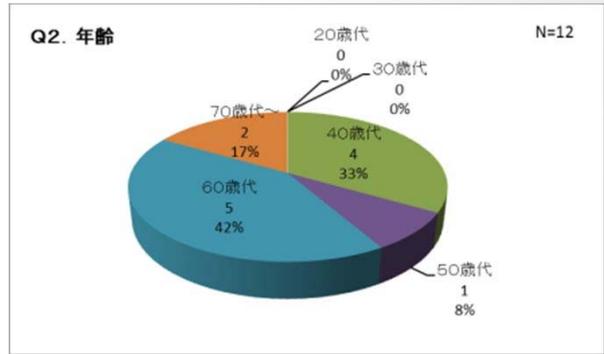
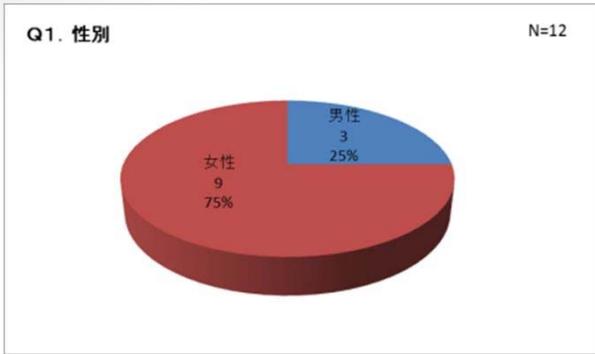
サロンの評価・満足度 等

(7) 意見・感想 等

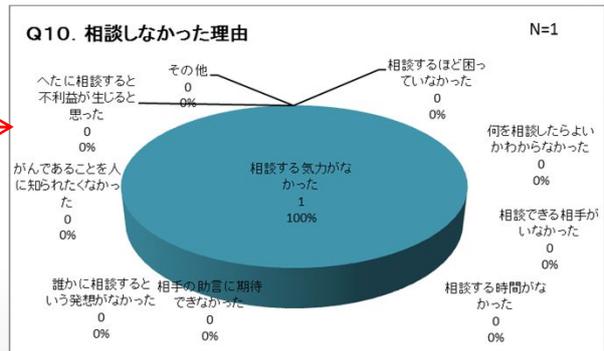
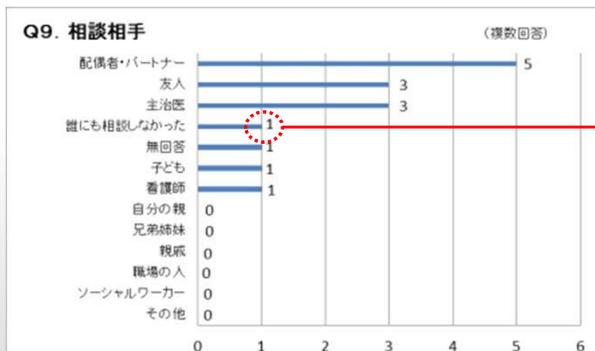
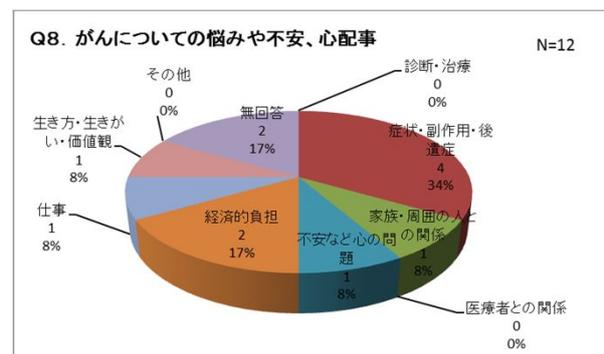
3. 調査方法 紙媒体によるアンケート

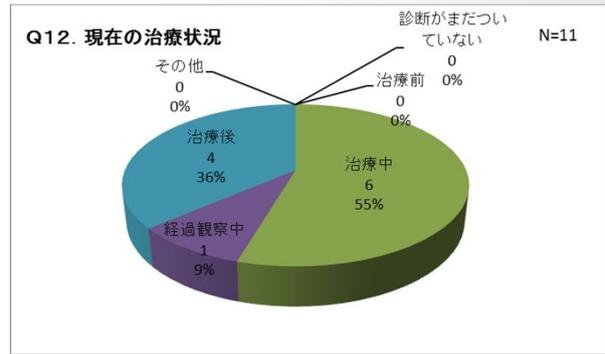
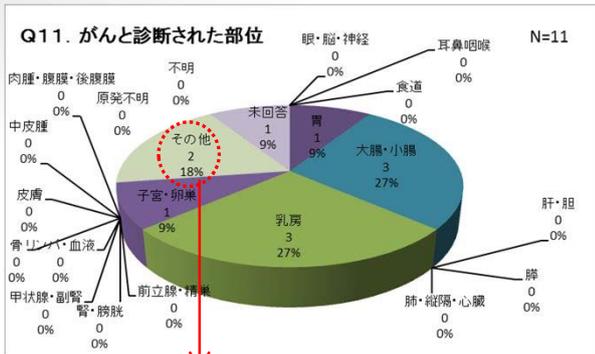
4. 調査対象 参加者全員

5. 実施日 平成25年2月27日(水)

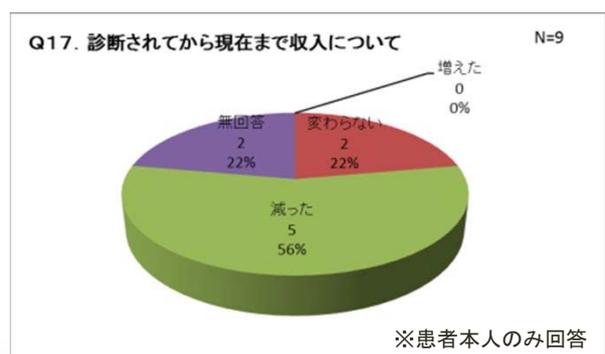
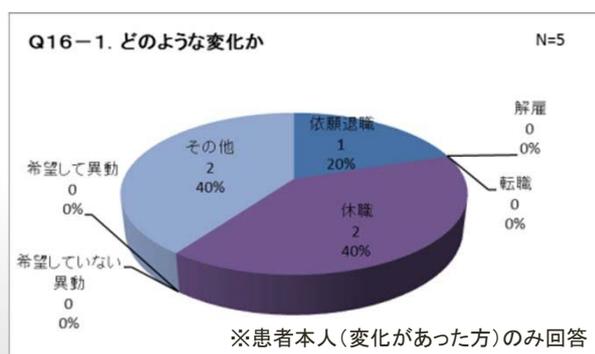
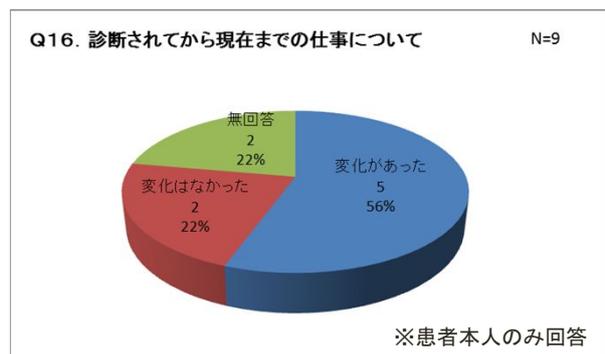
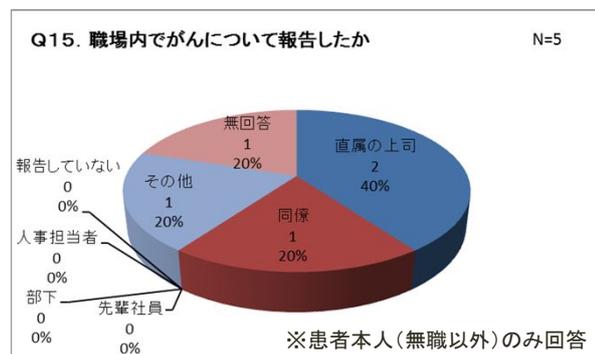
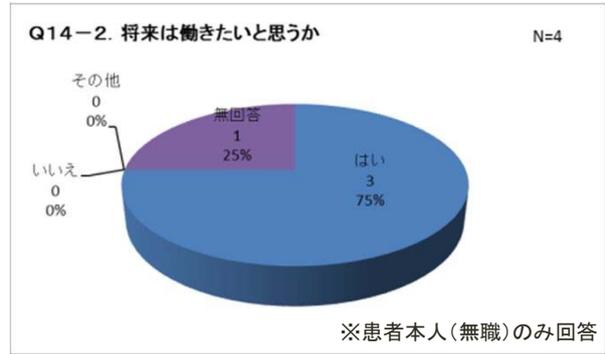
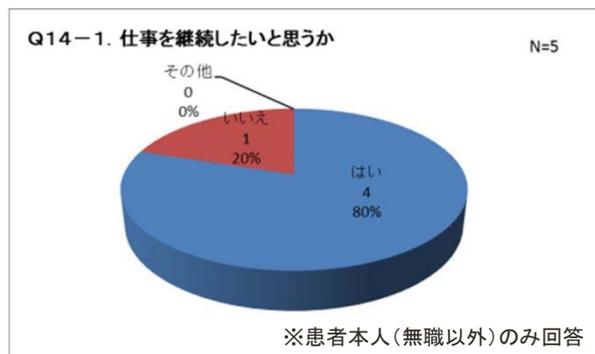
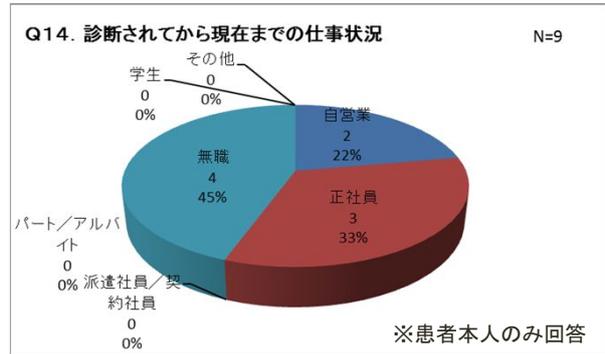
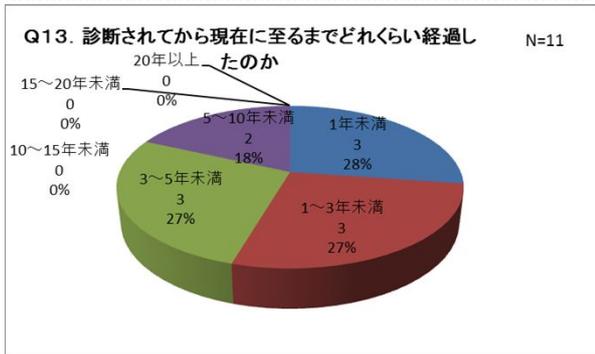


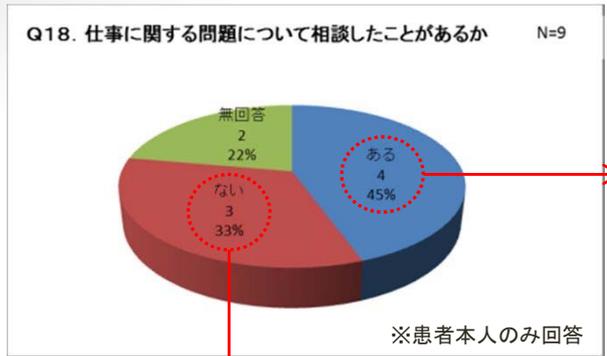
その他 : インターネット 1名、琉大からの案内 1名





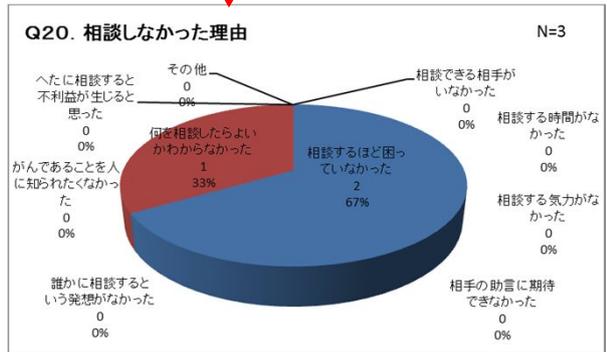
その他 : 舌がん 1名、直腸がん 1名





Q19. 「ある」とお答えになった方へ
 ①誰に、②どんな内容を相談したか。
 また③相談して役立ったか。(複数回答)

- ①家族、②(相談内容不明)、③やや役立った
- ①家族、②続けられるか相談し、体調をみながら出来る時だけという理解を得たのでよかった。③とても役立った
- ①友人、②(相談内容不明)、③やや役立った
- ①友人、②副作用や仕事が続けられるかどうか色々聞いてもらった、③とても役立った
- ①上司、②(相談内容不明)、③やや役立った
- ①同僚、②(相談内容不明)、③やや役立った
- ①カウンセラー、②(相談内容不明)、③やや役立った

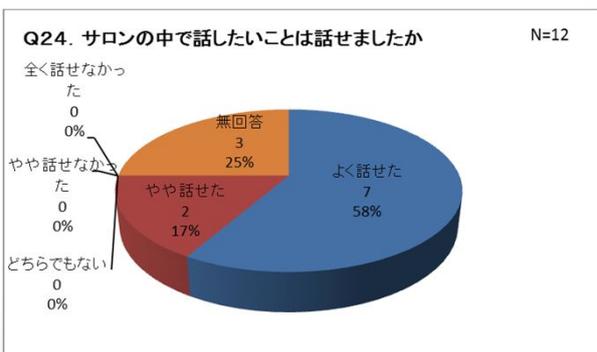
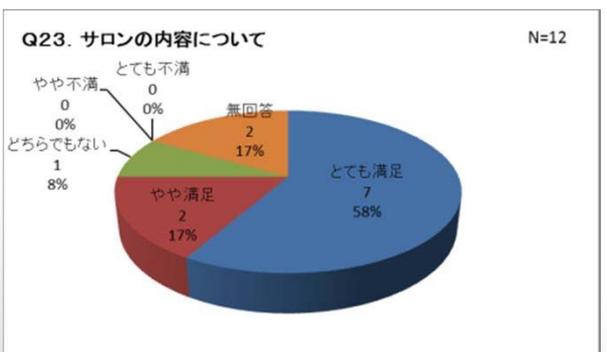


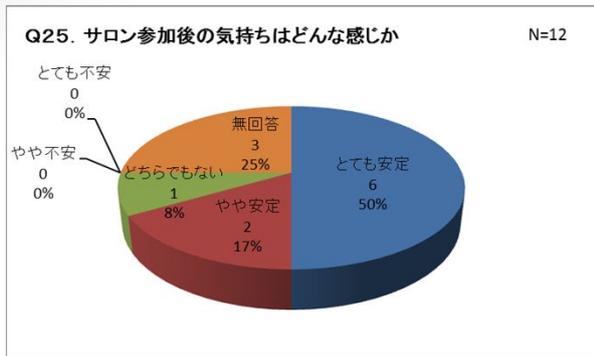
Q21. 診断後の仕事に関連して、困ったご経験やご体験について。(時期・内容)

いつごろ	どんなことに困ったのか
未記入	もう仕事ができなくなりました。(50代男性)
診断後	手がしびれて、仕事ができない。(60代男性)
仕事を始めたころから現在	正社員だが、時間休をもらって迷惑をかけていること。痛みがあり、手術の影響のため、できない業務が多くて困っている。(40代女性)
診断後1か月以内	すぐ入院だったので、仕事の引継ぎがうまくいかずに手間がかかった。(40代女性)

Q22. 仕事に関するご意見ご感想。治療と仕事の両立に向けて、どのように工夫したか。

- 体調不良や通院などで休む際にフォローできる体制が職場にあると続けやすいと思います。(40代女性)
- 治療中・後(4か月)は休職して、仕事に戻ったのですが、体力的にきつく、また、休職しています。両立の仕方を工夫する必要があると感じている。(40代女性)
- 一日一日を大切にしている。(60代女性)
- 自分の病気を勇気をもって周りの人に知らせて働かせてもらう。休む時は休む。時間を調整してもらう。(40代女性)





Q26. サロンについてのご意見・ご感想

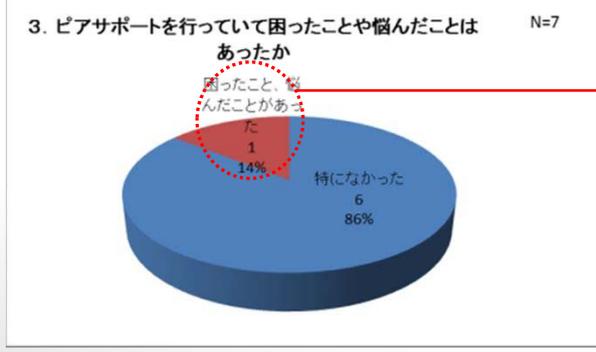
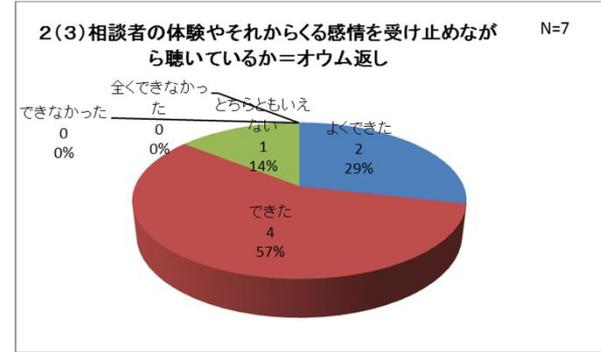
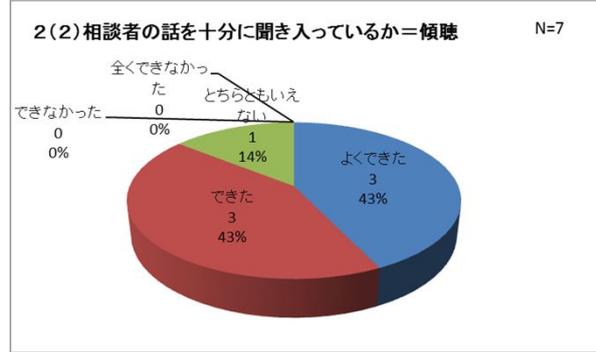
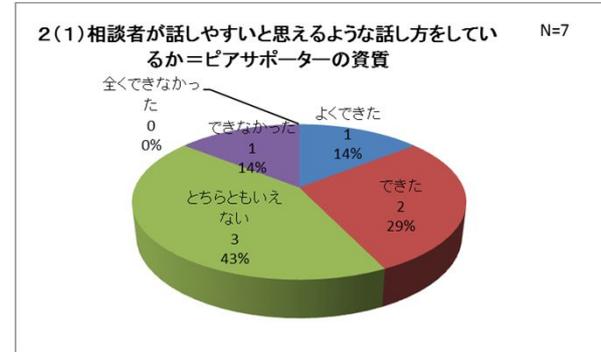
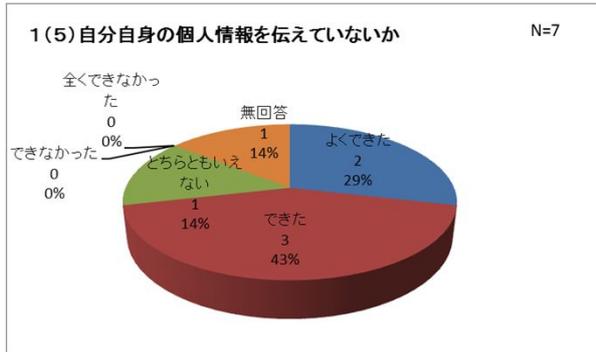
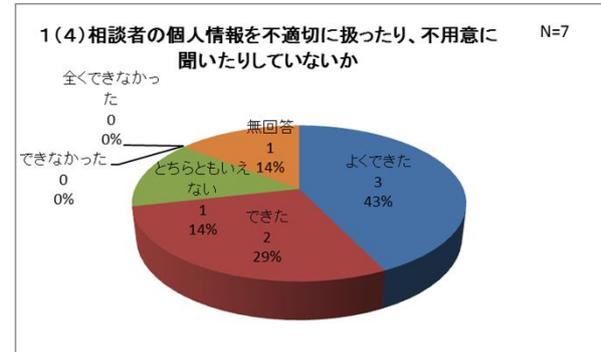
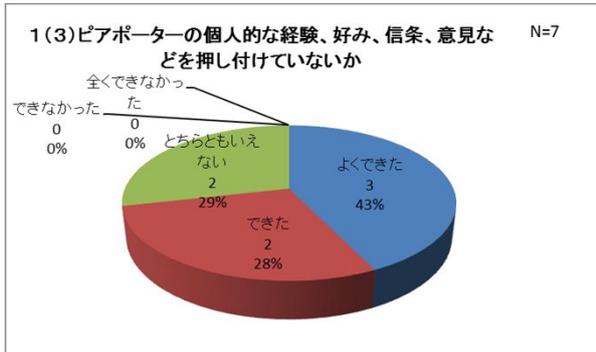
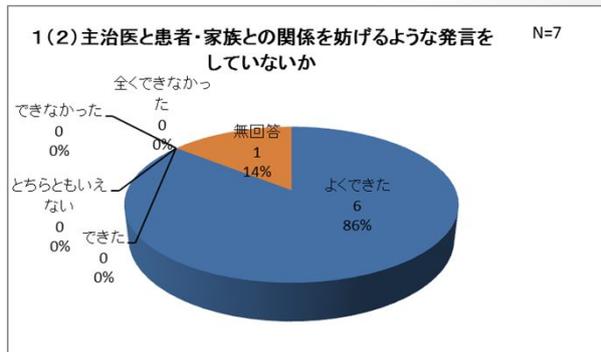
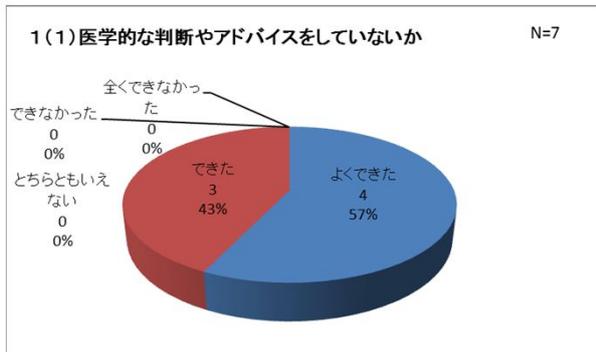
- 私は参加しても、あまり意味がないと思いました。(50男性)
- いろんな段階の方々がおられて、お話ができて良かったと思いました。(40代女性)
- 人前で話すのは苦手なのですが、他人の話は聞くのが好きなので楽しかったです。また、機会があれば参加したいと思います。(40代女性)
- 情報がないので、もっと会を増やしてほしい。病気のことは誰にも話せないで、今日、参加できて良かった。(60代女性)
- 体験を通しての視点で貴重な話が聞けて良かったです。ありがとうございました。全く気付かないことがわかりました。(60代女性)
- たいへん楽しかったです。ありがとうございました(60代女性)
- ピアサポートとして役に立てなかったけれど、楽しめました。ピアサポートとしてというよりも、人の話を聞く、自分の話を聞いてもらうというのは、本当に気持ちいい事。スッキリします。勉強にもなります。また、是非、この機会を作ってください。よろしく願います。ありがとうございます。また、参加させてください。(40代女性)

後半の部では2グループのうち1グループががん患者の就労というテーマで話をした。

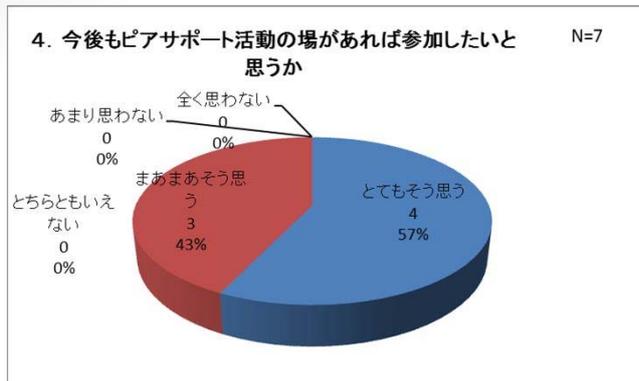
参加者の声

- がんになる前に比べて「できない自分」がもどかしい。頭では出来ると思っているが、以前と同じ勤務体系(1日8時間・週5日)は体力的にも厳しい。
- 自営業を営んでいたが一旦店を閉めた。抗がん剤の副作用によって日によって体調が悪く、営業に支障をきたしたため。
- 抗がん剤治療のため、4か月休んで、教職復帰したものの身体がきつく、また1か月休職する。
- 会社を休んでいるときは(収入が無いうえ、治療費がかさむため)経済的負担が大きく、いつもお金のことを考えていた。
- 治療後復帰し、3月に1回の検診のたびに休みをもらって、周りの同僚からは煙たがられていた。上司にはキチンと話を2して理解を得ていたが、同僚からの理解はむずかしかった。
- 最初は「助けて欲しい」ということができなかった。白旗を上げるのに時間がかかった。でも、言ったことで、自分の後に他の人が病気になっても働きやすい環境になっていった。
- 職場の同僚に甘えることも大事だ、治った時に返せばいい。
- 職場の人が気を遣ってくれることが気になる。
- 男性ががんになって仕事を休んだら、家には居場所がない。今まで仕事8割でやってきたから。
- 検診のときや、体調がすぐれない時は上司に相談して、フレックスタイム制にしてもらっていた。
- 訪問介護を正社員でフルタイムで働いている。治療後、体力的にも続けるのが本当にきつい。パートになりたいと上司に相談したいが、人手不足で言い出せずにいる。
- 傷病手当は手続きしてもすぐ入らないから困る。どうにかならないのか。
- 職場復帰するとき、仕事を徐々にはじめ、慣れてからフルタイムにもどれる支援がないのか。

■ 振り返りシート回収数 N=7 ※ピアサポーター参加者9名中 2名途中退席



3. (2) ピアサポートを行っていて困ったことや悩んだことのその内容
 自己紹介の時に、一人の患者さんの家族のお話が長くなってしまい、ちょうどよいところで止めるのが難しいと感じましたが、流れというものがあるので、それも大切にしながら適当なところで句切る。



5. 今回、ピアサポーターとして参加されたご意見・ご感想があればお書きください。

- がん患者といっても、人各々、皆違うので、いろんな意味で参考になった。今日も参加できて良かったと思います。ありがとうございました。
- 2部の仕事の話は、ピアサポートとは違うので、アンケートに反映させていません。情報を伝える時間を作った方が良い。ハンドブックや相談支援センター等
- 術後の方々の話を聞くことで、勉強させてもらいました。
- 弁当だしてチョ！
- 皆さんが気楽に話されたので良かった。
- どのような形になるのか少し心配でしたが、今日のようなグループ単位だと気楽にできた。
- 自分の職種以外のお仕事について、傷病手当や休職、医療費の支払い方法など、知識不足を痛感しました。

【アンケート結果】

ピアサロンへの参加動機としては、「サロンに関心があった」と「情報を知りたかったから」が最も多く、がんについての悩みは、「症状・副作用・後遺症」「経済的負担」が多かった。

今回は、就労についての項目も盛り込み患者本人より回答を得た。「職場内でがんについての報告はしたか」の問いに「上司」4割、「同僚」2割、「誰にもしていない」はゼロであった。「仕事に関する問題について相談したことがあるか」では「ある」が5割、「ない」が3割であった。相談相手として、家族、友人、上司、同僚、カウンセラーであり、「相談して役に立った」と回答している。相談したことが「ない」の内訳について、「相談するほど困っていなかった」が6割、「何を相談したらよいかわからなかった」が3割であった。

参加者へのサロン参加の満足度は「やや満足」「とても満足」が8割であった。

ピアサポーターには、ピアサポーターとしての心得は遵守できているか自己評価を行った。内容は「相談者が話しやすいと思えるような話し方をしているか」の問いに「よくできた」「できた」が4割であった。その他、「個人情報」や「価値観の押し付け」、「傾聴」、「感情の受け止め」などの項目では、7割～9割が「よくできた」「できた」と回答している。「今後もピアサポート活動の場があれば参加していと思うか」の問いに「とてもそう思う」「そう思う」と全員が回答した。

【まとめ】

今回、第2回ピアサロンの参加者は12名でやや少な目であった。参加者は、「治療による副作用の不安」や「仕事」「経済的な問題」等を打ち明ける事で気持ちを分かち合い、情報を共有でき、8割が「満足」と回答している。

就労については、職場へがんについて報告はするが、仕事の相談は「家族」「友人」が多いことから、職場では悩みを打ち明けられない事情があるとも考える。今後は、患者本人の就労調査及び雇用主への「がんと就労に関して」の啓発も必要と思われる。

今回はピアサポーターが9名参加されたので、グループ内に2、3名を配置することで互いに協力しあい安心してピアサポート活動が行えたことでサロン全体が和やかな雰囲気であった。また、参加者の満足度も高いことから、ピアサポーターとしての役割が果たせたと評価もできる。

サロン終了後には、ピアサポーター全員でサロンでの活動の振り返りを行った。ピアサポートで実際に困ったことなどの対応等について皆で意見交換や情報共有ができ、ピアサポーター同士の交流の場にもなっていることが、ピアサポート活動意欲にもつながると考える。今後も引き続き地域でのピアサロン開催とピアサポート活動支援を行っていく必要がある。